

これを読めば 今がわかる

いしのまき普及センター通信

Fuikyū

本日
青空市

特集

宮城県は若手農業者を 応援しています！！

令和6年度 特に力を注ぎます!! ~プロジェクト活動の紹介~

- ▶水田での大規模露地野菜の安定生産
- ▶省力化技術を活用した大豆種子生産
- ▶いちごの産出額の向上
- ▶小ねぎ産地における次世代の人材育成

受賞おめでとうございます！

石巻農業改良普及センターの職員紹介

写真:4Hクラブ員が作る野菜等の直売
「青空市」の様子

宮城県は若手農業者を応援しています! ~若者よ、大樹たる根を張れ~

農業の担い手や後継者不足が深刻化している一方で、石巻市・東松島市では多くの若手が生き生きと活躍しています! 石巻農業改良普及センターでは、4Hクラブの活動支援や、新規就農者への営農指導、就農希望者等への営農計画作成支援等、地域の将来の担い手育成のため、様々な指導・支援を行っています。

石巻地区4Hクラブ連絡協議会活動支援

石巻市・東松島市の若手農業者でつくる「石巻地区4Hクラブ連絡協議会(通称4Hクラブ)」は、近年は新入会員も増え、クラブ員がつくる野菜や花の直売会「青空市」の開催や、見識を広げるための先進地視察など、若手農業者同士で意見を出し合い、精力的に活動しています!

当普及センターでは、石巻4Hクラブの運営支援を通じ、若手農業者の資質向上に向けて支援しています。



月例の定例会

定例会では普及センター職員が、オブザーバーとして参加し、クラブ員の意見の引き出し、アイデア、企画を具体化するお手伝いをしています。



野菜等の直売「青空市」

クラブ員が作る野菜や花、加工品を自ら直売する機会を設けることで、消費者との交流を通じ、接遇とニーズ把握の重要性への理解を促しています。



先進事例の視察

クラブ員らが新たな知見や営農意欲を高められるよう、視察先の選定や調整をサポートしています。

なぜ「4H」クラブと呼ぶ?

クラブの4つの信条の頭文字に由来しています。

- 1 農業の改良と生活の改善に役立つ
腕(Hands)を磨く
- 2 科学的に物を考えることのできる
頭(Head)の訓練をする
- 3 誠実で友情に富む心(Heart)を培う
- 4 楽しく暮らし、元気で動くための
健康(Health)を増進する

新規クラブ員
待ってます!



石巻4Hクラブは新規クラブ員を随時募集しています! 活動内容に興味がある方は、石巻農業改良普及センター地域農業班までお問い合わせ願います。



4Hクラブに関する
普及センターへの
問い合わせ
メールはこちら

地域農業の将来を支える若手への支援

新規就農者への営農指導



新規就農者に対して定期的な巡回による技術指導を実施しています。農業簿記指導等、経営指導も行い、経営力の向上も支援しています。

就農希望者への相談対応



就農相談は随時受け付けています。継続可能な営農計画作成指導のほか、確実な就農・定着に向け、関係機関とも連携して支援をしています。

高校生に向けた農業の魅力発信



管内の高校生に向けて、スマート農業や大規模園芸、農業法人の就労環境など、現場の視察を通じて職業としての農業の魅力発信を行っています。

令和6年度特に力を注ぎます～プロジェクト課題紹介～

新

水田におけるばれいしょ 及びさつまいもの安定生産

石巻地域では近年ばれいしょ、さつまいもの栽培に取り組む農業者が増え、作付面積が年々増加しています。

対象とするばれいしょ生産2

法人は10ha超、さつまいも生産法人は1haという大面積となるため、作付ほ場が限られるほか排水対策、病害虫防除などの課題があります。

そこで作付前の透水性調査による排水性改善、適期作業による病害虫の発生抑制、ほ場の利用効率を考えた輪作体系の検討により、生産が安定するよう支援してきます。



新

省力化技術の活用による 優良大豆種子の生産性向上

宮城県は全国2位の大豆の産地であり、その種子の生産も県内各地域で行われています。

大豆種子の生産は大豆生産の基盤となる重要な事業ですが、現場では、病害虫等の被害を受けた大豆を除くための手選別が大きな負担となっており、撤退や縮小の意向を示す大豆種子生産者が出ています。

普及センターでは、スマート農業技術を活かし、収量・品質向上のための栽培技術指導や、色彩選別機等による省力化・軽労化の評価を行い、種子生産における省力化を支援していきます。



継続

多様な担い手のステップアップ によるいちごの産出額向上

いちごは「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」で令和12年までに産出額100億円を目指す重要な品目です。石巻地域は、巨理

地域に次ぐ県内第二の産地となっており、園芸振興においていちごの産出額増加は重要な課題です。

普及センターでは令和4年度からのプロジェクト課題で、主に技術の側面からいちごの産出額拡大を支援しています。栽培施設内の環境を適切に維持する環境制御や総合的に病害虫を防除するIPMなど新しい技術を導入しながら、収量や販売金額の向上が図られるよう活動を進めています。

石巻地域のいちご生産を担う個別栽培農家や農業法人、さらに新規参入者等の多様な生産者が、それぞれ産出額向上に向けてステップアップできるよう後押ししていきます。



継続

小ねぎ産地における 次世代の人材育成

石巻市桃生地区において「スリムねぎ」のブランドで栽培されている小ねぎは、JAいしのまき桃生スリムねぎ部会の生産者によって栽培されている、当管内における主要な園芸品目の1つです。

近年、部会員の高齢化による影響が懸念されている一方、将来の担い手として、若手を中心としたスリムねぎ部会青年部の方々の活躍が期待されています。

昨年度は、スリムねぎ部会青年部の皆さんを中心に、土壌分析を通じた栽培指導のほか、合庁で開催される直売会への参加支援を実施し、部会の活性化に向けて機運を醸成しました。令和6年度は、青年部員はもちろ

ん、部会全体に対しても産地の課題の共有化を図り、「スリムねぎ」の産地維持発展に向けて活動を進めていきます。



春の農作業安全確認運動「しめよう！シートベルト」

受賞おめでとうございます

第1回宮城県農林産物品評会（野菜（いちご）部門）



宮城県知事賞3等
品種:とちおとめ
(株)トライベリーファームさん
(石巻市)



宮城県知事賞3等
品種:とちおとめ
本田 英人さん
(東松島市)

令和6年2月15日、宮城県庁を会場に、第1回宮城県農林産物品評会の野菜（いちご）部門が開催され、41点が出品されました。

管内からは、JAいしのまきに出荷する石巻苺生産組合、河南いちご生産組合、やもといちご生産組合から9点、同時開催された「いちごサミットinみやぎ2024」に参加された(株)トライベリーファームから2点の合計11点が出品され、2点が入賞しました。

JAに出荷する組合から出品されたいちごは、「いちごサミットinみやぎ2024」のJA全農みやぎのブースで販売され、販売金額は全額「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」に寄付されました。

東部地方振興事務所農業振興部・石巻農業改良普及センターの紹介

班名		主な業務
農業振興部	調整指導班 0225-95-7115	農業振興地域整備・農地法、農業委員会、農協、経営基盤強化促進法、グリーンツーリズム、農地中間管理事業関係、農業金融など
	農業振興班 0225-95-7809	経営所得安定対策、農産物の生産振興対策、農薬・肥料の届出、環境保全型農業支援対策、アグリビジネス・6次産業化、農作物認証表示制度、震災関係交付金など
普及センター	地域農業班 0225-95-7612	地域農業振興計画推進、地域農業を担う組織の育成、多様な担い手の確保・育成、農村振興など
	先進技術第一班 0225-95-7612	作物（米・麦類・大豆等）、畜産の生産技術、GAP、アグリテックなど
	先進技術第二班 0225-95-1435	野菜、果樹、花きの生産技術、経営管理、農産物利用など

石巻農業改良普及センター職員紹介（座席表）

技術副参事 兼総括次長 **鈴木 康成** 新

所長 **渋谷 智行** 新

総括技術次長 **森谷 和幸** 新

技術次長 (経営支援) **守屋 明良** 新

地域農業班 0225-95-7612

班長 **高田 千春**
・石巻市・果樹
・経営

たまたま **玉手 英行**
・石巻市・女川町
・青年農業者・野菜

はしもと **橋本 佳奈** 新
・畜産・東松島市
・女性農業者

こんの **今野 育子**
・石巻市・花き
・農薬士・青年農業者

先進技術第一班 0225-95-7612

かわと **川戸 菜摘**
・作物・GAP
・アグリテック

班長 **穴戸 修** 新
・野菜、経営
・畜産

さとう **佐藤 泰久**
・作物(米)

おおいずみ **大泉 武士**
・作物(麦類・大豆)
・作物種子生産

先進技術第二班 0225-95-1435

あさの **浅野 裕斗**
・野菜
・農産物利活用

班長 **片岡 信幸**
・野菜

すがわら **菅原 克哉** 新
・野菜・6次産業化
・アグリテック

